

公募要領(教員養成イノベーション機構・教師教育学・教育心理学教員)

求人件名	教授・准教授・講師の公募(教師教育学・教育心理学)							
機関名	北海道教育大学							
機関URL	https://www.hokkyodai.ac.jp/							
部署名	教員養成イノベーション機構							
機関種別	国立大学							
公募のURL	https://www.hokkyodai.ac.jp/recruit/							
求人内容	<p>[機関の説明(募集の背景, 機関の詳細, プロジェクトの説明等)]</p> <p>○講座等名 教員養成イノベーション機構</p> <p>○専門分野 教師教育学・教育心理学</p> <p>[仕事内容(業務内容, 担当科目等)]</p> <p>○教員養成イノベーション機構内の「先進教員養成部門」*1に所属し、当該部門の専任教員として「実践と理論の往還によるスパイラル型カリキュラム」*2の開発・検証・改善にかかる業務を行う。</p> <p>○教職に関する学部授業科目等の担当(教職論、学校教育の実践と省察Ⅰ・Ⅱ、学校臨床研究、心理学と学校教育、その他業務・専門に関連する教職関係科目)</p> <p>*1: 令和の日本型学校教育に対応した「実践型教員養成」を実現するため、本学では令和5年度に「先進教員養成部門」をはじめとした5部門からなる「教員養成イノベーション機構」を設置した。「先進教員養成部門」では、教員養成課程の学生の学び方そのものを探究的・省察的なものに変革し、「実践型教員養成」を実現するためのカリキュラムや教育組織等の研究開発を行う。</p> <p>*2: 「実践と理論の往還によるスパイラル型カリキュラム」とは、本学が「実践型教員養成」を実現するためのカリキュラムとして開発した。「学校教育の実践と省察Ⅰ・Ⅱ」や「学校臨床研究」といった省察科目を軸に据え、「実践・省察・理論」に必要な授業科目を各学年で同じように組み合わせ、スパイラルを描くように学年進行で高度化するカリキュラムとなっている。</p> <p>[勤務地住所等] 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号</p> <p>[募集人員] 1名(教授、准教授、講師)</p> <p>[着任時期] 令和6年10月1日</p>							
研究分野 (2以降は必要に応じて記入)	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育学 その他 :</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育心理学 その他 :</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育工学 その他 :</td> </tr> </table>	1	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育学 その他 :	2	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育心理学 その他 :	3	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育工学 その他 :	<p>←JREC-INの研究分野一覧から該当する分類を記入 (URL : https://jrecin.jst.go.jp/offer/fields.html)</p>
1	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育学 その他 :							
2	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育心理学 その他 :							
3	大分類 : 人文・社会 小分類 : 教育工学 その他 :							
勤務形態	常勤(任期なし)							
応募資格	<p>資格等</p> <p>(1)教員養成カリキュラムの開発・検証・改善を行うことのできる方 (2)教師教育学・教育心理学に関する研究業績を有する方 (3)修士以上の学位を有する方、又はそれと同等の研究業績を有する方 (4)学校教育に貢献できる人材育成に強い熱意を持って取り組む方 (5)学校教育現場を研究フィールドにし、実践的研究を行っている方</p> <p>年齢 特に問わない。(ただし、本校における大学教員の定年は65歳である。)</p> <p>※教育研究等の業績については、①「北海道教育大学教員選考基準」及び②「北海道教育大学教員の選考に関する申合せ事項」に基づき、審査を行います。</p> <p>① https://education.joureikun.jp/hokkyodai/act/frame/frame11000094.htm ② https://education.joureikun.jp/hokkyodai/act/frame/frame110000393.htm</p>							

待遇	<p>(1)身分等:国立大学法人北海道教育大学職員就業規則第2条第2項に定める「大学教員」となり、同就業規則が適用されます。</p> <p>(2)勤務時間:「専門業務型裁量労働制」を適用予定(1日7時間45分のみなし勤務)</p> <p>(3)給与:給与は年俸制とし、本学の規程により決定します。 また、一定の条件を満たす場合には、各種手当が支給されます。</p> <p>(4)休日:原則として、土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日、6月1日(大学の創立記念日)</p> <p>(5)各種保険:医療保険・年金保険(文部科学省共済組合)、雇用保険、労災保険及び介護保険が適用されます。</p>
募集期間	令和6年5月13日 必着
応募・選考・結果通知・連絡先	<p>[応募書類]</p> <p>(1)経歴書(北海道教育大学教員選考規則別記様式第3号)</p> <p>(2)研究業績書(同規則別記様式第4号)</p> <p>※様式中の「研究業績書」記載事項の留意事項を参照してください。〈「研究業績書」記載事項の留意事項〉13.に記載している教育実践に貢献する論文の概要は不要です。</p> <p>(3)(2)に記載した著書、学術論文、作品等の中から主要業績3点について、それぞれ400字程度の概要(A4判用紙使用。書式は自由。)</p> <p>(4)模擬授業の授業計画(同規則別記様式第5号、「教職論」についての授業計画を提出すること。)</p> <p>(5)北海道教育大学での研究及び教育についての抱負(様式自由、A4判2枚以内)。</p> <p>(6)職務等に関する実績書(同規則別記様式第7号)</p> <p>(7)応募者の連絡先(氏名、電話番号、携帯電話番号及びE-mailアドレス)(A4判用紙使用。書式は自由。)</p> <p>(8)(1)～(6)をPDFファイルに変換し保存したUSBメモリもしくはCD-R</p> <p>(9)著書、学術論文、作品等 (研究業績書に記載した全ての著書、学術論文、作品等の現物、抜刷、又はコピー) 各3部 ※コピーの場合は奥付を付けてください ※レフリー論文には査読を経たものであることを示す書類(投稿規定等)を付けてください。</p> <p>※提出書類の各様式は、公募のURL(https://www.hokkyodai.ac.jp/recruit/)又はJREC-IN(研究者人材データベース)(https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop)からダウンロードしてください。 また、様式をダウンロードできない場合は、北海道教育大学事務局総務企画部人事課人材開発グループへお問い合わせ願います。</p> <p>【応募書類送付先】 〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号 北海道教育大学 教員養成イノベーション機構長 海老名 尚 宛</p> <p>(内容に関する問い合わせ先) 北海道教育大学 教員審査委員会委員長 姫野完治 電話 :011-778-0618 E-mail :himeno.kanji@s.hokkyodai.ac.jp</p> <p>(給与に関する問い合わせ先) 北海道教育大学事務局総務企画部人事課人材開発グループ 電話 011-778-0216,0217 / E-mail:s-jinzai@j.hokkyodai.ac.jp</p>
備考	<p>(1)本学は、男女共同参画を推進しており、業績(教育、研究及び社会貢献等)の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。 また、女性教員採用促進のためのポジティブ・アクションを定めて、「新任女性教員スタート支援経費」等の一定の経費支援を実施しています。</p> <p>(2)本学は、主として学校教員の養成に責任を負う大学であり、学校教員の養成及び学校教育の研究に意欲がある方及び地域の教育活動に関心のある方の応募を期待しています。</p> <p>(3)提出書類は「書留」とし、表に「教員公募(教師教育学・教育心理学)関係書類在中」と朱書きしてください。</p> <p>(4)選考結果については、機構長から直接本人宛に連絡します。</p> <p>(5)提出された著書、学術論文等は審査終了後返却します。</p> <p>(6)候補者については面接(模擬授業「教職論」を含む。)を行います。その際の旅費等は支給されませんので、あらかじめご了承ください。また、採用候補者として選考された応募者については、別途、本学役員による面接を実施します。詳細については、後日連絡します。</p> <p>(7)必要に応じて、学部及び大学院の授業を担当することがあります。</p> <p>(8)大学の運営状況の変化等により、主たる勤務地及び所属が変更になる場合があります。</p> <p>(9)提出書類に含まれる個人情報については、選考(応募者の専門分野に関する意見を聴取するため、学外の大学教授に提出書類を送付することがあります)及び採用以外の目的には使用いたしません。</p> <p>(10)札幌市或いはその近郊に居住していただくことになります。</p> <p>(11)本学は、公務員から引き続き大学教員に採用される場合でも退職手当の通算はできない扱いになっています。</p>